

石畑の神輿

瑞穂町有形民俗文化財

所在地：瑞穂町石畑 1848 番地



瑞穂町石畑地区に伝わる神輿で、毎年 7 月初旬に行われる石畑須賀神社例大祭（夏まつり）で渡御に用いられます。昭和 8 年(1933)、旧神輿が損傷したため、東京浅草の宮本卯之助商店より 670 円で購入したもので、神輿師宮本重義により制作されたものです。購入代金は山口貯水池用地の売却代金の一部を充てました。

総体的に金箔押しの彫刻、金色鍍金のかざり金具、朱漆の井垣、軒裏の朱漆の二軒繁垂木など、大正期から昭和期にわたって建造された贅を尽くした神輿の典型例です。同年代に建造された多く

の神輿は、戦災による消失等の理由により現存数は少なく、建造当時の姿を残す貴重な神輿となっています。